

ご案内

平成22年度通常総会のご案内

環境パートナーシップいわては設立8年を迎えます。

昨年の8月には、市民提案プロジェクトのプレゼンが行なわれ企画事業も充実しつつあります。

そこで、今回総会に先立って市民提案プロジェクトに関わるワークショップを開催する予定です。

特定非営利活動法人 環境パートナーシップいわて 通常総会

- 日時：平成22年5月30日（日）
- 会場：岩手労働福祉会館 5階 いしわり（盛岡市大沢川原2丁目2-32 TEL 019-651-7961）
- ・受付開始 13:00
- ・市民提案プロジェクト 13:30～15:20
ワークショップ（予定）
- ・通常総会 15:30～17:00（時間の変更あり）
- ・懇親会 17:30～18:50
- 懇親会会費：3,000円

～特別展示企画～

「梅野克雄 写真展」 世界環境写真紀行



開催期間

第1期 1月16日（土）～2月28日（日）
「アラスカ編」

第2期 3月1日（月）～3月31日（水）
「南米大陸編」

第3期 4月1日（木）～4月30日（金）
「ユーラシア大陸編」

第4期 5月1日（土）～5月31日（月）
「オーストラリア大陸とアフリカ大陸編」

時間 9:00～19:00

場所：環境学習交流センター



岩手県地球温暖化防止活動推進員の
梅野克雄氏が、
実際に世界各地5大陸を訪れ
自分の手でフィルムにおさめた
地球温暖化問題、環境問題の数々。



環パ
い
ニューズレター
キャラクター誕生

ぼく…アース王子です！
環パいニューズレター見てね！！



平成22年2月19日(金)

訪問先 特定非営利活動法人ASAC(エイサック)

所在地 岩手県盛岡市前九年三丁目3-17

取材協力者 ASAC副会長 岩泉好和氏



(エイサック)

ASACって何ですか？

Association for Sustainable Agricultural Certification の略

私たちは環境保護団体として立ち上げました。

岩手県は雑穀の生産県！

法律はあったが検査機関がなくなっていた？

私たちはその検査の実戦部隊です！

- 官民一体の認証機関
- にせもの締め出し！
- 本物生産・流通・体制を変える！
- 唯一の検査認定認証機関
- 市民団体のアクシス委員会連合と県農政部・岩手食糧事務所、JAなどが「環境保全型農産物生産・加工流通認証協議会」として'94に設立しました。



有機JASマーク



農林水産省から認証を受けた登録機関が、生産工程管理者・製造業者などを認定し、JAS規格に適合していると判断をした事業者が有機マークを貼付する。

岩手県認証マーク



有機・無農薬の栽培2年未満の圃場は有機認定を受けられません。農水省のガイドラインによる表示の認定証は岩手県認定認証制度による認証をASACが行ないます。

AXISマーク



雑穀品位等農産物検査証に順応した雑穀の規格・等級検査をAXISの検査認証プログラムによりASACが品位証明します。検査品には、等級検査証明証が付されます。

いわての山と海の

つながりを感じる活動の紹介

NPO法人環境生態工学研究所（仙台市）では、山田湾（山田町）の清掃を行い、そこで回収した海藻を植樹用の土壌改良材・肥料として活用し、旧松尾鉱山（八幡平市）の植樹活動を行っております。



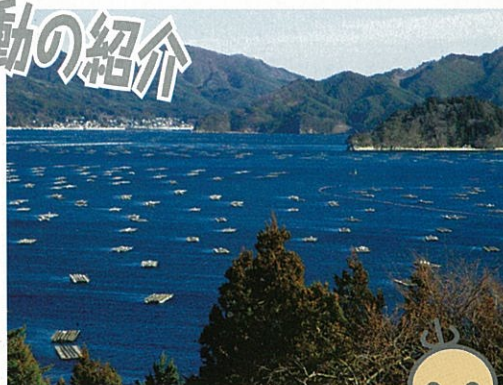
山田町

「オランダ島」での
海岸清掃及び
カキ棚漂着物の清掃

平成21年6月21日に、山田町の観光地「オランダ島」の海岸清掃と、山田湾のカキ棚に漂着した海藻を取り除く作業を行いました。この日は、15人程度で250kgもの海藻を回収しました。



カキ棚から海藻を除去する作業



山田湾



オランダ島



参加者と回収した海藻（約250kg）



八幡平市

旧松尾鉱山での
植樹ボランティア



植樹活動の様子



参加者での記念撮影

平成21年9月26日に、八幡平市の旧松尾鉱山でボランティアによる植樹活動が開催されました。

旧松尾鉱山の植樹活動は、県内さまざまな団体が活動を展開しており、読者のみなさんの中にも参加された方も多いかと思います。

この団体の植樹活動の特徴は、山田湾で回収した海藻を土壌改良材・肥料として活用しているところです。

海ではゴミだった海藻も塩抜き・乾燥などの手間をかければ、山では植樹の肥料として活躍してくれるそうです。この日は約750㎡の面積に300本の木を植えてきました。

市民提案プロジェクトの経過報告

アイーナ夜学

アイーナ夜学 昭和100年プロジェクト

地球環境はじめ諸階層のニーズにマッチした
ライフスタイルを実現する

「イーハトーブ・コミュニティ・タウン」の提案

平成18年4月にアイーナ
がオープンした時から毎月
1回開催しています。

持続可能な地域社会を実現する新しい産業・都市・住居の階層モデル



「地球1個分の暮らし」を実現するには、まず社会全体を階層構造的に捉え、各階層における運営方針や具体策の社会要素を持続可能性の目標に対して最適となるように創出する必要があります。検討する社会階層は規模の大きい順から、地球環境階層、国内外経済階層、産業連携階層、教育・医療福祉など都市機能階層、住宅及び個々の生活様式階層です。これらの各階層に配置する管理要素等が、持続可能性に対してどうであったか監視を行います。

地球環境階層

エコロジカル・フットプリントに基づく評価方法の導入はいかがでしょうか。例えば、ICLEI（国際環境自治体協議会）の管理方法を自治体に導入しましょう。

都市機能階層

住民が徒歩可能な距離に教育や福祉施設を配置しましょう。CBDを中心に同心円上に展開した職住一体型の居住区があり約500m圏内でサービスが受けられるようにしましょう。

国内外経済階層

地産地消を促進して異分野業種の連携を強化しましょう。生産から消費に至るエネルギーやモノの管理を徹底し、効果的な資源の再利用に取り組みましょう。

住居環境階層

高断熱と自然エネルギー利用を徹底する住宅構造にしましょう。また地域とのコミュニティ空間が作りやすい住宅構造とし、地域コミュニケーションが自然に行える街にしましょう。

産業連携階層

オープンな産業活動を促進して、地域の総力を結集しましょう。SOHO企業とITネットワークにより連携し、課題解決を行いましょう。新潟県燕市のように域外からの課題解決依頼に対応する産業活動を行うことも一案です。

個人生活

普段から家族内、近隣内、都市空間の中でCSR的活動を行いましょう。生活に密接なサービスのいくつかは地域独特の通貨により決済することも考えられます。

アイーナ夜学では異分野の参加者のもとにこのような意見交換を行っています

2 「エコクーポンつぎエコマップ」普及拡大プロジェクト

「エコびいきマップ製作実行委員会（BON BON カーボンオフ?!）」では、地産地消や食品ロスを減らすなど環境にやさしい取り組みをしているお店を紹介するマップを作成しました。

みんながエコでトクするには、このマップを持って行って、そしてお店のサービスをじゃんじゃん利用してください。



協力店

- ★ ヌップ・デュ・バブ
- ★ チャーリーズバー
- ★ 九十九草（つくもぐさ）
- ★ ni-ju（ニージュ）
- ★ サイクルオダシマ
- ★ AVAZ
- ★ シャトン
- ★ 新寿司
- ★ MASS（マス）

●アンケート調査

- レジ袋をもらっている現状・・・86%
- レジ袋有料化賛成、やむを得ない・・・64%
- ・・・有料化については一定の理解が得られたと考える。

●レジ袋削減を広める県民会議フォーラム開催

- 基調講演 杉並区の紹介……木浪るり子氏
- パネルディスカッション……紫波町ごみ減量女性会議
- 地球温暖化防止活動推進委員他

●今後の予定

企業との懇談・有料化或いは削減に向け協定を締結予定



レジ袋削減を広める県民会議

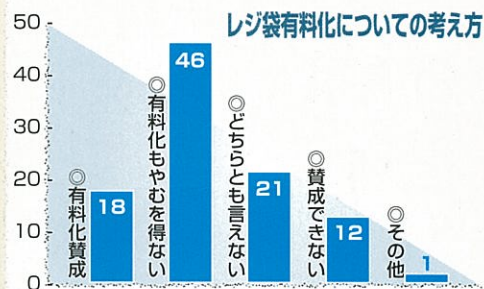
レジ袋削減アンケートから

NPO法人環境パートナーシップいわて

レジ袋削減1000人アンケート実施

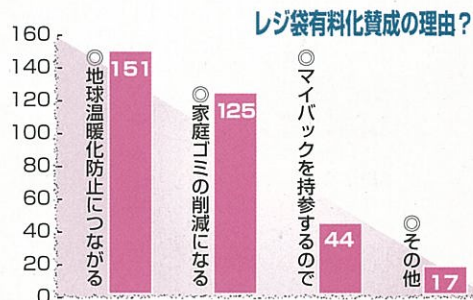
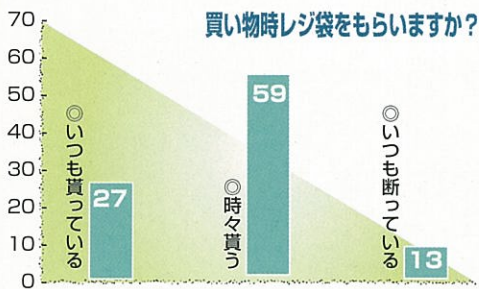
- 普段買い物をするときレジ袋を買いますか。
- レジ袋を買う理由は？
- 買わない理由は？
- レジ袋有料化についてどう考えますか？
- レジ袋有料化に賛成の理由は？
- 有料化に賛成できない理由は？

対象……一般県民10代～80代
期間……H21.9.25～11.10
回収……男924名 女686名 計1,610名

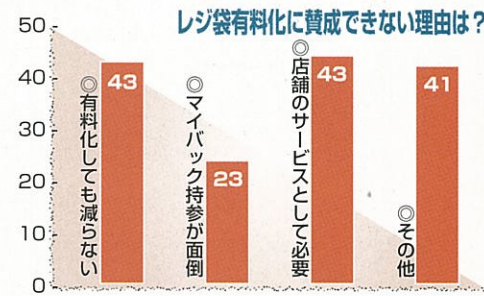
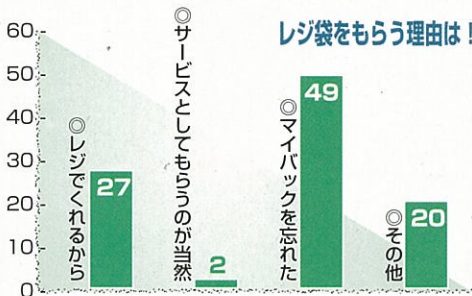


なぜ！今・レジ袋削減？

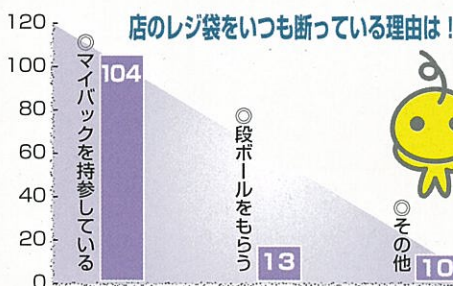
- レジ袋は身近な包装で多量に消費・廃棄されている。
- レジ袋辞退啓発運動が全国的な広がりになっている。
- マイバック持参普及でライフスタイルの見直しが行われている。
- 容器包装廃棄物を用いる小売業者は、改正容器法に基づき国が定めるガイドラインに従って、レジ袋の有料化やマイバックの配布など排出抑制を促進する取り組みが求められている。

いままでそれぞれの立場で実践！
さらなる行動への拡大！

- まずはレジ袋を容器包装廃棄物の発生抑制の第一歩と考え不要なものは買わず消費を減らすリデュースを県民に促める。
- マイバックキャンペーンの推進を全県下に拡大していく。

レジ袋の有料化もゴミ減量、二酸化炭素削減の
選択肢の一つであると考えられる。

- 住民・自治体・事業者の連携協働により情報発信を活発に広めていく。
- レジ袋削減1000人アンケートの実施
- レジ袋削減を広める県民会議フォーラム開催



レジ袋削減についての意見 92件の意見を頂きました。

- 1・市町村に一律に実施するように働きかけを。
- 2・レジ袋有料化になったらそのお金がどのように使われるか説明して欲しい。
- 3・レジ袋を使わないとどれくらいエコになるのかわかると実感しづらい。
- 4・廃止は、若者に疑問、義務化は問題。有料化にしても皆無にすることは出来ない。
- 5・有料化により、レジ袋使用が削減されるか疑問。
- 6・レジ袋なくなってもゴミは減らないと思う。
- 7・自分の袋を持参すべき。
- 8・持参したのを忘れる。有料化されれば心がけられると思う。
- 9・レジ袋に対する正しい知識を消費者が持っていないのが疑問。
- 10・必要なものはお金を払って買おう。…大事に使うから。
- 11・ものを使い捨てる文化とは、人の心も使い捨てにされる。物を大切にすることを育てる社会に。

アンケートの回答には複数回答可の部分があります。

渡辺 記

環境フォーラム・ポスターセッション 「私たちが創るいわての未来」



平成21年11月7日（土）～8日（日）環境王国展が開催されました。

環ぱい主催のポスターセッションの風景



岩手県ネイチャーゲーム協会
—「ネイチャーゲーム」でわかちあう自然への気づき—



岩手県立黒沢尻工業高等学校
—環境学習教材の開発—



アイーナ夜学実行委員会
—「地球環境はじめ諸階層のニーズにマッチしたライフスタイルを実現する「イーハートブ・コミュニティ・タウン」の提案」—



日本野鳥の会宮古支部
—崩壊する山林—



岩手大学環境マネジメント委員会
—岩手大学環境マネジメント委員会の活動について—



レジ袋削減を促す県民会議
—「レジ袋削減を促めよう」—



BONBON カーボンオフ?!
—「エコカーボンつきエコマップ」普及拡大プロジェクトについて—



気候変動研究会
—新聞報道から見た温室効果ガス削減の動き—

会員だより

学びからやさしい未来を



1 土日環境学習講座 Part.2

会場：アイーナ5階環境学習交流センター

時間：13:30～15:00

4月18日(日)

もりおか星空トークⅡ

講師：吉田偉峰さん 盛岡星まつり実行委員会



4月25日(日)

盛岡市・ビクトリア市姉妹都市締結25周年 記念事業 「ミューラルプロジェクト」について

講師：吉見利子さん 25周年記念実行委員会
ミューラルプロジェクト担当、
ポップ・ステップ国際交流の会代表

2 アイーナ夜学

◆ごみゼロプロジェクト例会&「地球1個分のくら し? エコロジカル・フットプリント Part.49」夜学

4月15日(木) 午後 7時00分から午後8時55分

会場：アイーナ 5階 ミーティングルーム

◆エコロジカル・フットプリント Part.50夜学

5月27日(木) 午後 7時00分から午後8時55分

会場：アイーナ6階団体活動室3

会 費：無料参加：どなたでもどうぞ。

申 込：E-mail: eco@isop.ne.jp まで。

参加ご希望の方はぜひ、ご連絡願います。

■ファシリテータ(実行委員会・環境パートナーシップい
わて会員) 佐々木明宏、佐藤清忠

■プログラム(話題案)

- ・夜学の「イーハトーブ・コミュニティ・タウン構想」～
環境活動におけるオープンイノベーション
- ・地球1個分の暮らしをデザインしよう

3 もりおか環境緑化まつり

盛岡は、まちの中心を川が流れ、美しい山並みと豊かな緑に包まれた安らぎと潤いのあるまちです。このまちにもっと緑を増やし、美しい花をいっぱい咲かせ、“花と緑のまちづくり”を進めるため、「第39回もりおか環境緑化まつり」を開催します。

日 時：4月27日(火)～29日(木)

AM10:00～PM4:00

場 所：盛岡城跡公園広場

主 催：もりおか環境緑化まつり実行委員会
環境学習交流センター(環ぱい)も実行委員のメンバーです。

内 容：展示即売・花苗プレゼント・抽選会・花と緑の相談会コーナーなど

4 岩手日報掲載環境通信募集!!

月1回夕刊に掲載します。

5月17日・6月14日の掲載分を募集中

内 容：県内の環境問題に取り組む団体・個人の活動を
紹介。原稿500字位
活動写真1枚(カラー)

締め切り：掲載の1週間前まで環ぱいの事務局に
メールで添付お願いいたします。



～わたしの一言～



私は、ファイナンシャル・プランナーという仕事をしています。家計を改善し、そのひとが思い描く人生を実現するためのアドバイザーです。

環境への負荷を減らすためには、生活水準を下げるしかないといわれることもありますが、人間という生き物は我慢が続きません。不景気な時期はなおさらです。しかし、環境にやさしい行動はサイフにもやさしいとなれば、不景気な今だからこそ、たくさんの人が積極的に、この問題に取り組んでくれるのではないのでしょうか。

住吉 正志



編集
後記

22年度は環ぱいキャラクターとともにニュースレターの内容を一新し、より親しみやすく・
より見える化に・より存在感をアピールしたい。

編集スタッフ募集中

発行：NPO法人 環境パートナーシップいわて

〒020-0124 盛岡市厨川5-8-6 TEL 019-643-8570 FAX 019-643-8573 e-mail kanpai@utopia.ocn.ne.jp

環境学習交流センター・岩手県地球温暖化防止活動推進センター

〒020-0045 盛岡市盛岡駅西通1丁目7-1 岩手県民情報交流センター・アイーナ5F

TEL:019-606-1752 FAX:019-606-1753 TEL:019-6811904 FAX:019-681-1906

R100
当誌は100%再生紙を使用しています